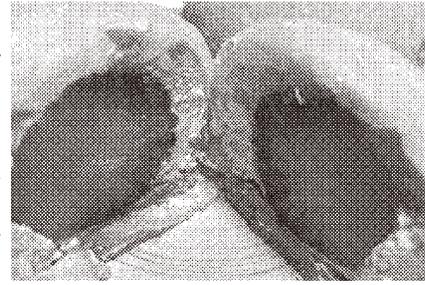


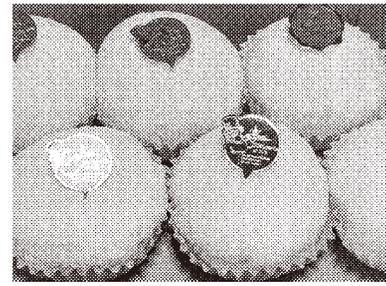
つっちーの美味しい日記



今回、私が行ったきたお店はコチラ！

長野市中御所にある、イチゴがたくさん描かれていて、こざんまりとした可愛らしいお店「生大福 ほっぺ」。

このお店は、長野市篠ノ井のカップケーキ店「お菓子日和」が、自家農園で育てたイチゴを味わってほしい！と立ち上げたテイクアウト専門で、一昨年六月にオー



ン。農園で採れた章姫や紅ほっぺのイチゴを使った生大福のお店。イチゴ大福の他には「メロン」や「桃」「シャインマスカット」「さつまいも」といった、その季節の旬な物が包まれた大福が色々あるみたい。

今回私は「丸」と特大いちご」「小布施栗」「シャインマスカット」の三種を購入！テイクアウトなので、お家に帰って早速

『あく、あの台やっつけばよかった。』

食べる！

甘さ控えめの生クリームに大きなイチゴが丸ごと一粒、そしてフルーツの下にはふわふわのスポンジケーキが。それが求肥に包まれているので、これにシュートケーキの様な大福♪

正直、私は大福のお餅があまり得意ではなかったのですが、求肥という事もあって口の中でのりける。口当たりも軽くペロッカリが賛同しと食べられちゃった。これこれはお店に通って全種類食べたくなる！ちなみに入っているのは、十二月から四月までの期間だけで、五月からはイチゴの生クリームとイチゴのゴッソスに変わるみたい。お店の営業は火・水・木・金曜の十一時〜十五日だから丸ごとイチゴが食べたい方はお早めに！



大豆島店 土屋

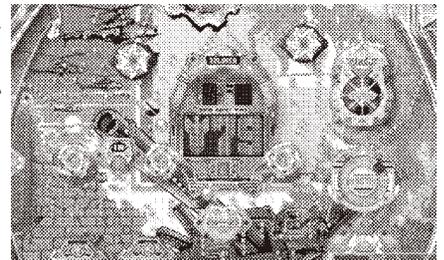
『あ、あの台やっつけばよかった。』

パチンコ打ちな一度は思ったことあるでしょう。自分が迷った台が、同じ結果にならないことある。それは百も承知である。それが、求肥という事もあって口の中でのりける。口当たりも軽くペロッカリが賛同しと食べられちゃった。これこれはお店に通って全種類食べたくなる！ちなみに入っているのは、十二月から四月までの期間だけで、五月からはイチゴの生クリームとイチゴのゴッソスに変わるみたい。お店の営業は火・水・木・金曜の十一時〜十五日だから丸ごとイチゴが食べたい方はお早めに！

天国と地獄

密には吉兆ではなく勘違いだが、何ほともあれ、何の言葉もなく開店の待ちの列に加わる私たちが、タバコをふかしながら待つ事数十分、開店と同時に何となく人の流れに乗る。もちろん初めのお店だから何の知識もない。しかし現在ほど大型化していない当時の店舗、経験上自分の求めている台がどの辺にあるかは、何となく分かっていった。

パチンカーとはそんなものだし、そのお店の常連さんらしき人に付いていけば、自然と鉄火場にたどり着くのである。そして着いた先にあったのは、『CRソルジャー』



▲CRソルジャー

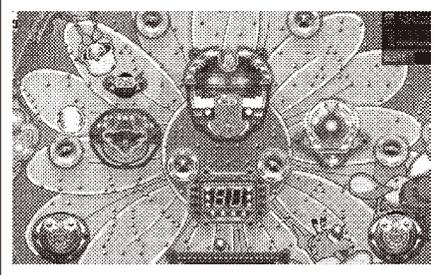
『CRソルジャー』

『打ってみたい』このやり取りを経て、連れに台を譲ること

に。

さて、どうしようかと考えながら、店内を徘徊していると目に止まった台は、『ポップカルチャー』

こちらも当時爆裂機のひとつとして活躍していた台。一回の出玉は約四〇〇発程度と当時としてはめちゃくちゃ少ないが、巷では百連チャンクラスもざらにあるなど、猛威を振るっていた台である。



▲ポップカルチャー

開店の音楽とともに打ち始める私。その時はどんな未来を思い描いていたのかはもう覚えていない。

でも、九人の偉人が旅立ってしまったという現実よりはマシだったので、と思うのは人として当然のことではないかと。当時の記憶はぼんやりとしてしまったが、ホクホクの友人に飯をおごってもらい、寂しく帰路に着いたことだけは、今でも鮮明に覚えている。



大豆島店 小林

ライオン君が行く

画：つっちー [13]

